

鎮守の森と 再生可能エネルギー



株式会社

ダイナックス都市環境研究所



鎮守の森コミュニティ研究所

Chiniu-no-Mori (Grove of the Village Shrine) Community Research Institute

小池 哲司

【確認】再生可能エネルギーとは

太陽光 風力 バイオマス 水力
などなど

→ これらの自然資源を活用することで
エネルギー(熱や電気)を生み出すことができる

地域に賦存する資源を活用して
エネルギーを生み出して
売却する

= 地域社会が稼ぐことができる

【確認】小水力発電とは

→ 定義はさまざまですが…

川や水路、水道、砂防ダム

などを活用した

比較的小規模な水力発電



出典:資源エネルギー庁ウェブサイト

発電の規模は
水の量と水が落ちる高さによる

理論出力(kW)

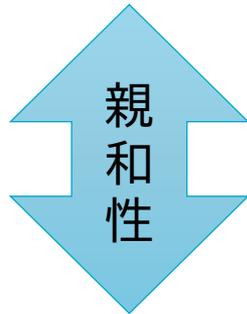
$$= \text{流量}(\text{m}^3/\text{s}) \times \text{落差}(\text{m}) \times 9.8$$

ローカルでの小水力発電は実は歴史が古い

→戦前から組合や住民の集まりによる事業実施

鎮守の森と再生可能エネルギー

鎮守の森
自然崇拜・信仰



再生可能
エネルギー

自然の恵みへの感謝
(自然への畏れ・畏敬)

祭祀・祭礼

地域の紐帯

鎮守の森と再生可能エネルギー

地域主体で再生可能エネルギー事業

└地域内の合意形成・賛同が重要

└調整や推進役として

神社が中心的な役割を担えないか



- 神社と自然資源利用、水利用は親和性が高い
→自然の恵みへの感謝(前スライド)
川や森は神域や結界のような重要な役割
水分神や水源地に祀られている社
- 地域の資源利用や財利用に公共的立場から関与

神社対象アンケート-概要

神社がどの程度再生可能エネルギーに関心を持っているかについて調査

実施主体 京都大学広井研究室
(ダイナックス都市環境研究所が調査実施)

調査対象 ① 秋田県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、
東京都、神奈川県、長野県、滋賀県、福岡県、
沖縄県
② 栃木県、和歌山県

実施時期 ① 令和5年1月
② 令和6年1月

調査方法 郵送送付、郵送およびウェブ回答

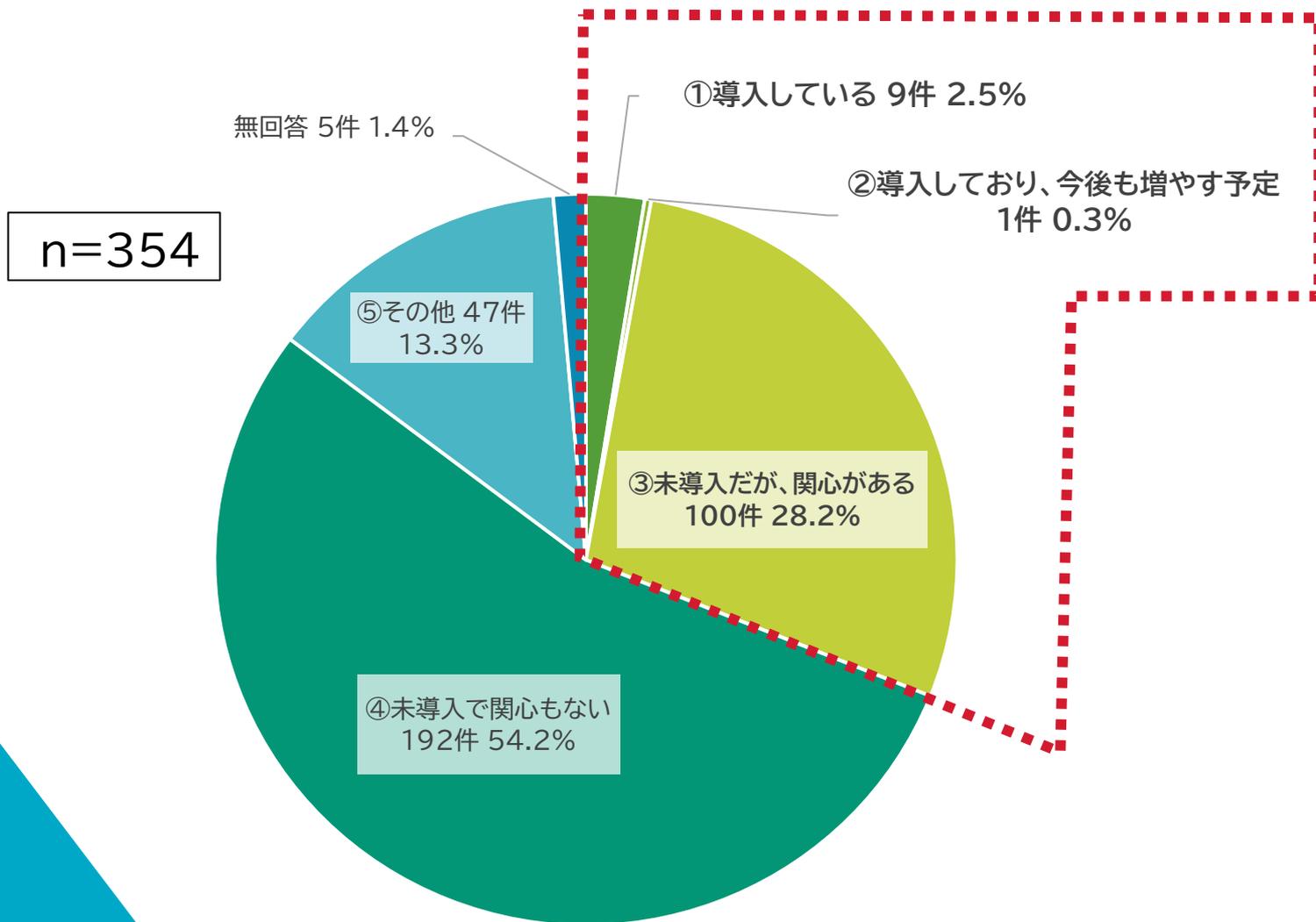
神社対象アンケート-送付先

- 各都道府県の宗教法人名簿を参照
- 代表役員名で重複削除した(発送数=代表役員数)

	発送数	返送数	到着数	回答数	回答率
秋田県	258件	86件	172件	39件	22.7%
福島県	331件	169件	162件	32件	19.8%
群馬県	165件	45件	120件	16件	13.3%
埼玉県	276件	62件	214件	32件	15.0%
千葉県	227件	81件	146件	21件	14.4%
東京都	450件	33件	417件	65件	15.6%
神奈川県	192件	39件	153件	17件	11.1%
長野県	316件	189件	127件	26件	20.5%
滋賀県	249件	57件	192件	46件	24.0%
福岡県	321件	132件	189件	30件	15.9%
沖縄県	3件	0件	3件	1件	33.3%
栃木県	192件	108件	84件	11件	13.1%
和歌山県	140件	16件	124件	18件	14.5%
全体	3,120件	1,017件	2,103件	354件	16.8%

神社対象アンケート-結果①

再生可能エネルギーの導入状況や関心

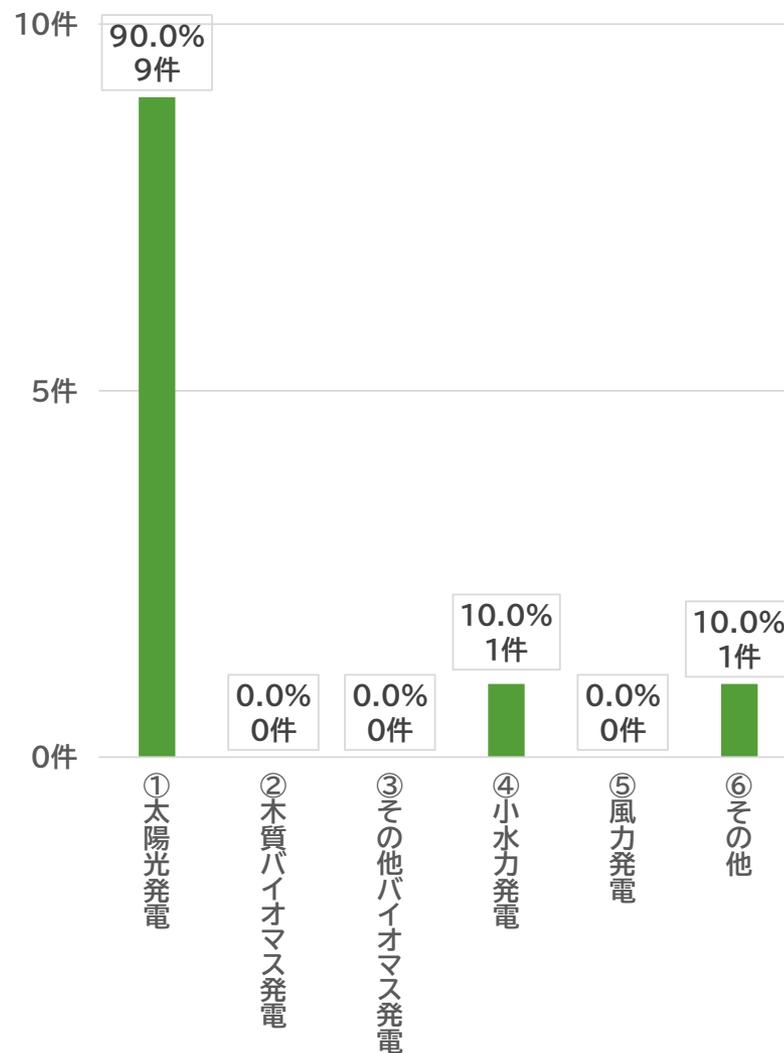


神社対象アンケート-結果②

n=10

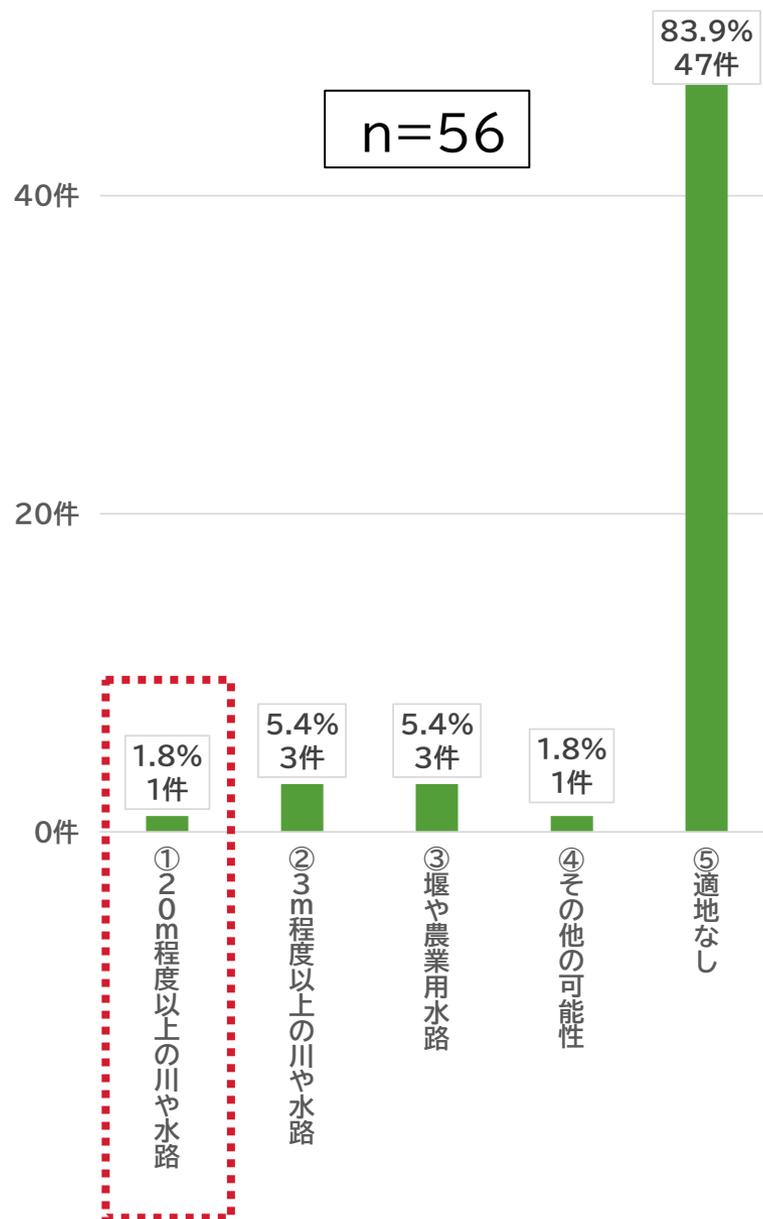
導入しているエネルギー種

エネルギー種	利用方法	具体的内容
太陽光 / その他	自家消費・余剰売電	宮司職舎の新築に合わせて太陽光パネル・エネファーム・蓄電池を導入。
太陽光	自家消費・余剰売電	15年位前に社務所屋根に太陽光パネルを設置し、神社電気代に充てていました。(4.2Kw)
太陽光	自家消費・余剰売電	今から25,6年前より導入している
小水力発電	自家消費	神社には使用せず、電気柵に使用。現在故障中。
回答なし	回答なし	宮司宅には太陽光設置済(電力会社へ売電)



神社対象アンケート-結果③

周辺に小水力発電の適地はあるか



神社対象アンケート-結果④

自由記述抜粋

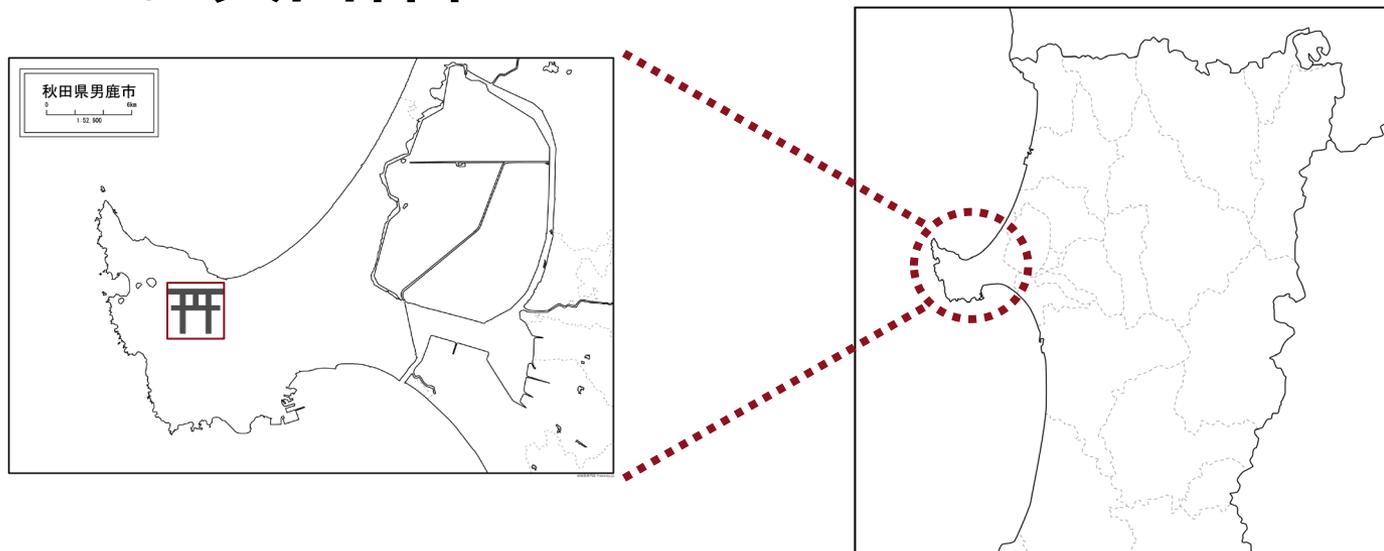
- 森を大切にすることは、自然を大切にすることにつながります。したがって自然エネルギーの導入は神道の理念に適っていると思います。
- 鎮守の森を守っていく為には手入れがかかせない。手入れのメリットがあれば継続可能になる。
- 太陽・大地・水・風等の自然に感謝し、神を敬い自然と共生する道こそが神道のゆくべき方向性と考えます。その意味で自然エネルギーは大いに享受して参りたく存じます。

- 境内、鎮守の森は聖域であると考えています。発電施設もそぐわないと思います。また、神社にとっては異音も神社の雰囲気をこわすのではと。
- 景観、自然環境の変化、動植物への影響を考えると導入は考えるべきでない。空気の流れの変化も考えられる。数百年も続いた環境は日々見えない、後世数百年のことを考えるべきと考える。

アンケートからの展開

「関心がある」・「20m以上の適地がある」と回答した神社

→秋田県男鹿市 ^{しんざん} 真山神社



男鹿/真山神社
= なまはげゆかりの地



アンケートからの展開-男鹿・真山神社

真山神社・武内宮司へのヒアリング
(2023/7/28)



男鹿市で小水力発電を検討する
地域有志と意見交換
(2023/12/20)

